

普通科生物16班

人間が暗記しやすい条件！

班員 上野優希 中野瑛斗 三浦晃生
古川京子 緒方楓

指導者 野崎久美子 先生
岩室貴詞 先生

研究の動機

・人間が素早く暗記する条件を見つけることで、LEAPや古典単語をすぐに覚えることができ、時間を効率的に使うことができると思ったから。

研究の目的

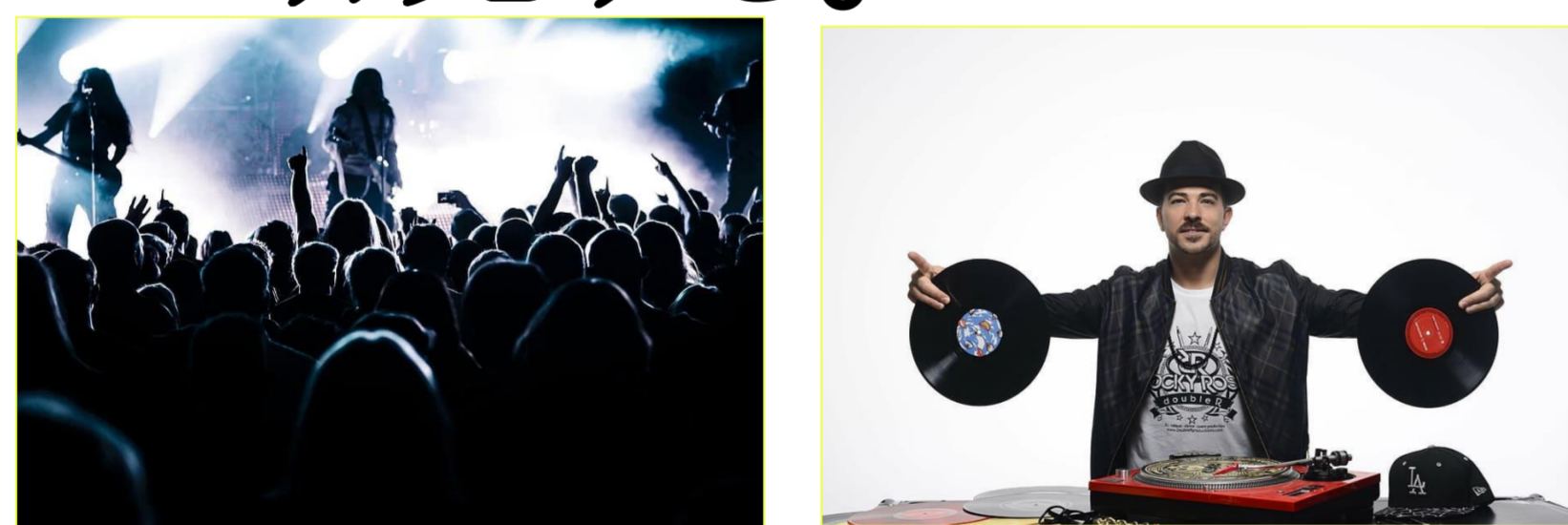
・暗記しやすい条件を見つけ、勉強を効率よく進めるため。また高校生、受験生の暗記に費やす時間を減らすため。

先行研究

・「音楽を聞きながら勉強することは良くない」という常識的な考え方とは一致しない。
・明るく刺激的な印象の音楽は「イライラした」「不快だ」と感じる。
・暗く静かな印象の音楽は「落ち着いてできる」「心地よい」と感じる。

研究方法

○初めに、何も条件を加えずテストを受ける。
次の条件を加えて研究する。



①音楽のジャンル

・自然の音、集中用BGM、j-pop、洋楽を聞いて影響があるのかを調べる。
また、歌詞の有無(j-pop)も関係があるのか。

②暗記するもの

・他国の言語(日本語、英語以外)

必要な道具

- ①イヤホン
- ②端末
- ③暗記するもの



仮説

先行研究より…

- ・音楽によっては、何も聞かないより暗記力が上がるはずだ。
- ・ロックは、暗記力が下がることが考えられる。



研究計画

①音楽…集中bgm 音楽無
歌詞入り で比較



4～5月	・テスト作成(言語) 対象人数40人以上
6～7月	・何も条件を加えずにテストをする。
夏休み	・音楽でどのような影響があるのか調べる。 (ジャンルによって変化があるかどうか)
9～10月	・音楽でどのような影響があるのかを調べる。 (歌詞の有無で変化があるかどうか)
11～12月	・まとめ

参考文献

和歌山大学教育学部教育実践総合センター

[計算および記憶課題に及ぼすBGMの影響について](#)